

コケ植物-菌類エンドファイト共生系の産業利用に関する研究

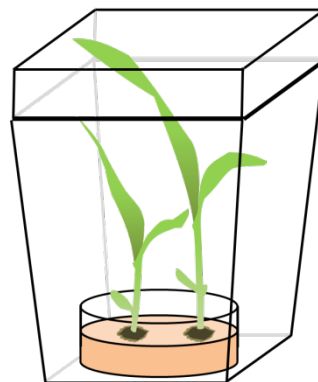
修士2年 皆川 源一郎



背景・目的

これまでの研究によりコケ植物もエンドファイトと共生関係があることが示唆されている。そこで、コケ植物を産業利用する上で問題となっている生育の遅さをエンドファイトを使って改善することを目的とし、研究を行っている。

既存菌株との比較



前年度に分離された菌株が既存のエンドファイトと比べどの程度の生長促進効果があるのかハクサイ及びスイートソルガムに接種することで評価した。

実験の結果*C. indicum*は既存のエンドファイトと比較しても高い生育促進能力があることが分かった。

菌株の同定

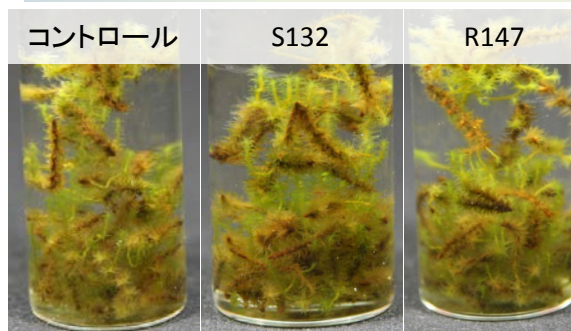
前年度の研究により分離された菌株の同定を行った。



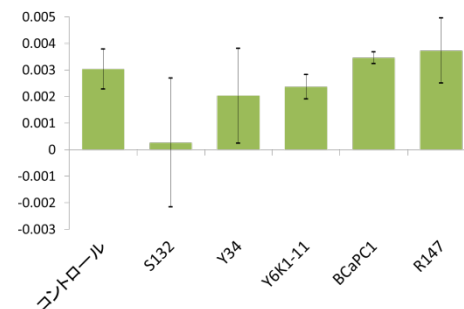
形態観察の結果より *Camposporium indicum* と同定され、これまでエンドファイトとしての報告がないものだった。

左図は*C. indicum*の顕微鏡写真

スナゴケへの接種



屋上緑化に使われるスナゴケへエンドファイトを接種し生育促進効果と接種方法について検討を行った。



接種による効果は今回見られず、今後さらなる検討が必要である。